

2019年3月

「宇宙を教育に利用するためのワークショップ」
(SEEC2019)
参加報告書

ひばりの保育 石垣のいえ
廣本 美保
※所属はSEEC2019参加時点

「宇宙を教育に利用するためのワークショップ」(SEEC2019)参加報告書提出票

学校名		ひばりの保育 石垣のいえ
氏名		廣本 美保
DATE AM/PM		学校訪問及び参加したセッション・ツアー
2/6 (WED)	AM	Brookwood Elementary Schoolの訪問・校長表敬・学校見学・2年生授業
	PM	SEEC受付
2/7 (THU)	AM	・Neutral Buoyancy Lab—Observation deck (Tour)
	PM	・Take STEM Literacy out of this world with Story Time and Science Time From Space ! ※JAXAセッションで発表
2/8 (FRI)	AM	・Expert/Educator: Working Under Pressure in Space Suits
	PM	※JAXAセッションで発表 ・The Space Adventure
2/9 (SAT)	AM	・Seeing in the Dark :Preserving Dark Skies ・Explore the History of Manned Space Flight
	PM	・Exoplanet Art ・Living and Working on the ISS
備考		

① 自身の発表内容に関する所見

・発表内容は目に見えない空気をつかまえて遊ぶ、風船遊び。

風船は割れるという概念を覆し〔風船に乗ってみよう〕ということで【BALLOON TRAMPOLINE】興味を持ってもらえるタイトルだったと思う。

・私はもちろん緊張していたがいきなり本題ではなく、石垣島や子供たちのスライドをみて声が上がって参加者の笑顔が見られ徐々に表情がゆるみ、私の緊張も和ぎ、本題へと入ることができた

・今回使用した〔布団圧縮袋〕を身近に手に入れられるものなのかと現地のスーパーで探し、写真を急遽入れ込み発表することで、とても喜んでもらえ、そこでまた参加者の気持ちをグッとつかんだように思えた。

・ワークショップの所は説明しながら作る作業を進めたが椅子から立ち上がり行なう作業だったので、騒がしくなったとき、私の方に視線をもらうためパーランクー(沖縄伝統楽器の太鼓)を持参していた。その効果は絶大ですぐに視線をもらうことができた。

*1回目(2月7日 Thu 15:45~ Destiny Theater)

映画館のような少し暗めの会場だったが使用する物等も特に見づらいこともなく行えた。

参加者は聞こうという姿勢の方々が多く、落ち着いた雰囲気の中、進めることができた。

*2回目(2月8日 Thu 13:15~ Silvermoon)

とても明るい会場。明るすぎるのでスライドの見え方に気を配る必要あり。

テーブルが並べてあるのでテーブル作業はしやすいが、私のワークショップではテーブルが遮り参加者の作業が見づらかった。

2回目の参加者は最初からワクワクしている様子がうかがえた。作業の時間になると途中から説明する前にどんどん先へ進み、乗り方などを伝える前に乗ってしまっていたので、あちこちで風船がバンバン割れてしまっていたが、とても楽しそうな様子は見ることはできた。

・2回の発表を通して参加者のみなさんに楽しんでもらえたと思う。

発表後は写真撮影なども行ない、「良かったわ」「最高よ」「あなたの笑顔最高ね」など声もかけていただき本当に嬉しかった。

・自分の反省としては、英語を覚えきれず、ほぼ資料を読みながらの発表になってしまったこと。参加者とのやりとりが充分でなかったことである。

オーバーアクション&表情で一生懸命伝えようとはしたものの限界があると感じた。

発表中は一緒に参加されていた小島先生、JAXAの方々にも各グループについていただいたり、通訳をしていただいたりフォローをしていただいたおかげで終わることができた本当に感謝している。



セッション#1 会場



セッション#2 会場



② 訪問した学校及び参加したセッションや JSC ツアーについて、それぞれに関する感想及び教育現場への活用等に関する所見

[Brookwood Elementary School の訪問]

校内の施設見学では気持ちが明るくなるようなカラフルさが目立つ。実際、私もワクワクする感じを受けた。

教材、環境を整え準備し、その中から子供たちが選んで学ぶ、という子供たちの自主性を尊重しているのがうかがえた。

発達障害児について話を聞いた。テキサス州は小さいときからそういった教育をするように決められているようで、日本との違いを感じた。

教育者のための休憩室があったり、教育者のメンタルをフォローする人材が存在したり教育者に対しても優しい学校だった。

授業は2年生のクラスで行なう。子供たちはワクワクした表情で参加し、とても積極的だった。歓声をあげながら遊んでいた。私は緊張はしたが生徒たちの反応が良く楽しく授業ができた。生徒達が教室を出て行くときに「I love you」とハグをしてくれた子どもが何人かいてとても嬉しかった。

今後、保育(教育)を行なう上で自分も楽しみながら行なうと子供たちにも伝わり、楽しい時間を過ごしながら学んでもらえると改めて思うことができた。

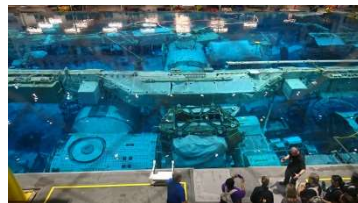
幼児クラスの部屋に個人の成長の段階が分かるような表示があった。私の園でいうと、クラス担任があるわけではないので、保育士全員が全園児の成長を把握できるよう活用したいと思った。



[セッション・JSC ツアー]

・英語に不安があったので体験型のセッションを多く選んだ。グループで進めていくものもあったが、アイコンタクトや、つたない英語でどうにか乗り越えた。

宇宙をテーマにした絵本を手に入れることができた。絵がとても可愛く子供たちも興味を持ってくれると思う。園として来年度は英語を今以上に取り入れていこうという目標なので是非活用したい。



・ツアーはプール見学と宇宙飛行の歴史の展示を見るツアー

特に歴史のツアーはとても興味深かった。自分の目で見たものを話し、伝えていきたいと思う。

③ SEEC に参加した他の教育関係者との交流(意見交換、情報提供など)の内容

セッションではグループワークなどにも参加したので、驚いたり、笑ったり、他の教育者とのコミュニケーションをとることもできた。

セッションに参加して下さった方が“BALLOON TRAMPOLINE”を体験した様子を Facebook に投稿してくださったり、その投稿を見た方々が連絡・感想をくださったりと交流は深まっている。

④ SEEC 参加によって得られた成果及び今後の活用方針

3 日間の時間は本当に貴重な時間だった。海外の教育者と交流ができ、海外の教育の様子が今後も共有しあえるという大きなパイプができた。

教育者は与えるだけでなく入り口を提供し子どもたちに自ら考える力をつけ、それを積極的に伝える方向に導く姿勢が大切だと感じた。

今後保育(教育)でも引き出せるように導き促していきたいと思う。

そして、経験したことを島内だけでなく、本土でも機会を見つけ子供たちに身近なものがすべて[宇宙]に繋がっていることを伝え、[不思議]と思うことの楽しさ、おもしろさを感じることができるようになりたい。

教育者の方々にはそれに加え SEEC 自体にも興味を持っていただき発信者側になってもらえるように活動していきたいと思う。

⑤ その他(今後改革した方がよい点など)

自分の反省になってしまいますが、学校訪問をする際は SEEC 発表資料を見直し、小学生用に作り直す作業をある程度日本にいる間にしておくと思った。私の資料は途中教育者向けのページがあったので、訪問前日に内容を省く作業をバタバタしながら作ってしまいました。(但し現地情報で急遽内容を変える可能性もある)

*資料作り、調整会、学校訪問、SEEC 参加とあつという間の 2018 年～2019 年 2 月でした。

途中、楽しい・キツイ・頑張ろう・無理～など色々な感情を味わい刺激的な日々だった。

とても貴重な良い機会をいただいたと感謝しています。

そして、できることなら、もう一度挑戦・参加したい!! Presenter として。。。

